



発行/日本労働組合総連合会  
長野県連合会  
発行人/小松 豊

〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349  
E-mail info@nagano.jtuc-rengo.jp http://www.rengo-nagano.jp/  
フェイスブック https://www.facebook.com/rengonagano/



次  
の  
世  
代  
に  
正  
し  
く  
伝  
え  
て  
い  
く  
こ  
と  
は、  
私  
た  
ち  
の  
大  
切  
な  
使  
命  
忌  
ま  
わ  
し  
い  
戦  
争  
の  
記  
憶  
を  
風  
化  
さ  
せ  
な  
い  
た  
め  
に、

## いつ終わるかも分からない戦争の中、恐怖と闘って過ごした日々 戦争の悲惨さと命と平和の尊さを訴える ～連合平和行動 in 沖縄～

連合長野では、構成組織・地域協議会と共に、毎年平和4行動(沖縄・広島・長崎・根室)へ代表団を派遣しており、戦争の悲惨さと命と平和の尊さを訴える取り組みを行ってきています。コロナ禍の中、沖縄については、6月に予定通り開催することが出来ましたが、広島・長崎は中止、根室は代表者のみの参加予定となっています。平和行動in沖縄参加者より感想を頂きましたので、掲載します。



「平和祈念公園」から戦死者が眠る東シナ海を望む

### ■参加者からの声

印象深いのは、自然洞窟で沖縄戦を今に残す「糸数アブチラガマ」の訪問。頭へ滴る生ぬるい水滴、ぬるぬるとした足元、静かで真っ暗な内部は、見学ルートになった今でさえ、短時間の滞在で気分が悪くなった。ここで過ごした人達が経験した歴史は、以降の研修にて資料で学び、もし自分が経験したら、すぐに心が壊れてしまうと感じた。他人事に感じてしまう戦争の悲惨さを知り、考える貴重な機会だった。

電機連合 デンソーエアクール労組  
多田 均さん



ヘルメットをかぶり「糸数アブチラガマ」に入る

沖縄の本土復帰50年の節目となる6月23日の慰霊の日に平和行動in沖縄に参加した。日米地位協定における過去からの経緯や現状の複雑さを知ることが出来た。講話の中で“無知の壁”という言葉があったが、この機会に少しでも知ることが出来たことは大きなプラスとなった。米軍基地の70%が沖縄に集中している状況の中、もっと多くの人が知り、日本全体で考えていく課題だと感じた。

JAM甲信 シチズン労組ミヨタ支部  
池田 明里さん

今まで教科書に書いてある内容でしか知らなかったことが沢山あり、考えさせられる3日間になりました。特にひめゆり平和祈念資料館では、ひめゆり学徒一人一人どんな性格だったのか書いてあり、戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて考えさせて頂きました。沖縄復帰50周年という大切な節目に参加できありがとうございました。

長野県農団労 信州うえだ農協労組  
上村 拓磨さん



住民たちが逃げ込んだ洞窟「ガマ」を再現した「平和の丘モニュメント」

6月23・24日に、那覇市で開催された「平和オキナワ集会」と「ピースフィールドワーク」に参加しました。その中で一番印象に残っているのは「糸数アブチラガマ」です。中は暗闇で、言葉では表せられないくらい過酷な状況で生活

をしていたことが分かりました。実際に沖縄に行つて感じたことを周囲の人に発信していきたいです。

長野県農団労 信州うえだ農協労組  
本道 愛さん

私は「平和行動in沖縄」を通して、沖縄で起きたこと、今起きていることは決して他人事にするべきではないと感じました。米軍基地問題も沖縄県だけで考えるのではなく、日本全体の問題として考えることであると思います。今後戦争をしないように国民一人一人が歴史を学び、平和への考えを持ち、その考えを選挙などを通じて日本の政治に伝えていくのが、私たちができる平和への一歩なのではないでしょうか。

長野県農団労 JAみなみ信州農協労組  
原田 晋太郎さん

「2022平和行動in沖縄」が開催され、1日目には那覇文化芸術劇場なはーとにて、明田川教授による基調講演並びに平和式典がありました。教授からは主に沖縄と米軍の地位協定の講演があり、平和式典は第二次世界大戦の悲惨さを学び、未来に発信しなければならない必要性を学びました。2日目には

沖縄戦に関係する土地を巡るピースフィールドワークを行いました。糸数アブチラガマでは内部に入り、壁の焼け跡などから当時の傷跡残る悲惨さが見てとれました。ここには住人や軍人、ひめゆり学徒隊など多い時には1000人にも上る日本人がいました。中は湿度が高く真っ暗であり、多くの負傷兵も避難しており、その中で十分な医療や薬、食料が無い中で生き抜いた人たちがおり、いつ終わるかもわからない戦争の中、恐怖と戦って日々過ごしていたのではないかと私は感じました。他にも魂魄之塔、平和記念公園、ひめゆりの塔を巡り戦争の爪痕残る展示物や、多くの戦死者の名前が展示掲載されていました。それらを目の当たりにして、いかに沖縄戦が一般人を含む約20万人以上の尊い命が失われた悲惨な出来事であったことを感じました。今回の「2022平和行動in沖縄」では、いままで勉強で学んだ文字の情報しか知りませんでしたが、現地に赴き見て聞いて感じたことにより、鮮明に戦争の悲惨さを肌で感じ取れました。今後私たちは二度と戦争を起こさないよう、また、これらのことを後世に伝えていく必要性を受けたのだと思いました。

長野県農団労 ながの農協労組  
宮崎 陽太さん



沖縄戦後に住民の手で最初に建てられた「魂魄の塔」

カーライフを応援する、頼れる補償

## マイカー共済

自動車総合補償共済

安心をまとめたら、こんなプランになりました!

ご相談ください!  
見積実施中!

ごくみん共済 NEWS

## ごくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

**安心の補償内容**

おすすめ安心タイプ

あなたをがっちり守る!  
**人身傷害補償**  
最高5,000万円

対人賠償 対物賠償 無制限

**安心の事故対応サービス**

- 休日・夜間も問わず、24時間365日緊急受付
- 出張交渉サービス付き(対人・対物賠償事故に限り)

**安心のサポート体制**

- マイカー共済ロードサービス
  - 自走不能な場合のレッカーけん引
  - 燃料切れの時のガソリンまたは軽油おまかせサービス
- 30分以内の路上クイックサービス
- 現場にて実施可能な30分以内の路上クイックサービス
- 脱輪・故障等引き上げサービス

●車検・修理・点検は全国ネットのごくみん共済 COOP 指定整備工場で!

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「リーフレット」(ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報))を必ずご確認ください。

自賠責共済とあわせてのご加入をおすすめします。

# 連合長野30周年記念事業 ～各地域協議会の活動～

連合長野は、2020年2月に結成30年を迎え、記念事業の一環として各地域協議会で独自の取り組みを展開してきました。紙面の関係上、9月号は5地協の取り組みを紹介します。

## ■高水地協 命を守る森の再生植樹「ABMORI2022」

ABMORI（エビモリ）は歌舞伎俳優の市川海老蔵さんが、地球温暖化防止のために、できることを問いかけたブログがきっかけで2014年から志賀高原で始まり、県や山ノ内町、地元の観光団体でつくる実行委員会が主催で今年で8回目の開催となりました。蓮池の元ゲレンデに集まった県民約500人が12区画（1区画5m四方）に分かれ、ミズナラやウラジロモミジなど13種類、約4,000本を植えました。指定された植樹穴の位置に、植える前に水を十分含ませたポット苗から苗を取り出して丁寧に植えました。その後、土を

かぶせ乾燥を防ぐためのわらを一面に敷き、ロープを渡してから、わらを押しさえて、最後に水やりをして無事終了しました。参加者からは、「命を守る森」の大切さを体感し、来年も参加したいと感想が述べられました。



## ■長野地協 ホタルの乱舞する川づくり 計渴川(けかちがわ)の清掃

県民文化会館の東側を流れる計渴川の水路一帯には、昔から蛍が生息しており、周辺の都市化が進む中で一時は姿を消しましたが、再び見られるようになったそうです。2001年に、我々の先輩方が社会奉仕の一環として、蛍生息地の保全協力を検討し、その後「列島クリーンキャンペーン」として毎年、計渴川の清掃を行ってきました。2014年に一定の役割を果たしたため終了しましたが、連合長野30周年記念事業に合わせて、ホタルの乱舞する川づくりを計画し、地域住民の方々と計渴川の清掃を行いました。

今年は、計渴川上流の工事によって5カ月近く止水されていたとの事で、蛍は10匹ほどしか見られませんでした。以前は多い時で200匹もの蛍が見られたとの事です。再び多くの蛍が見られるよう、来年以降も計渴川清掃に協力が出来ると良いですね。



さあ始めよう  
家計の見直し!

今返しているローンを「ろうきん」で組みなおして  
**支払うお金** を **使えるお金** に  
変えませんか?

はたらく人の想いと生きる  
**R 長野ろうきん**

ろうきん  
**カリカエ大作戦!**

期間: 2022.6.1(水)~2023.1.31(火)

カーローン  
ディーラーローン  
残価設定ローン

住宅  
ローン

カード  
ローン

教育  
ローン

詳しくはこちら▶

ろうきんイメージさん  
高梨 真

2022年9月1日現在

■佐久地協 障がい者就労支援に繋げる クッキー製造と特別パッケージを発注

加盟単組・組合員、関係各所に対して感謝の気持ちを表すことと、社会貢献に繋がることをテーマに、幹事会でアンケートを実施するなどして企画を検討しました。その



結果、障がい者就労支援に繋がるよう、長年グリーンボランティア等でお付き合いのある社会福祉法人「小諸学舎」の「しのめ作業所」が製造するクッキーを記念品

として配布することを決定しました。併せて、佐久地協作成の30周年記念シールを用いた特別なパッケージも「グループホームみゆき生活舎」に発注しました。取り組み期間は、作業所の生産計画に基づき2022年6月～2023年2月までの9か月間で、2週間に一度のペースで加盟単組と関係各所へ届けています。小諸学舎長からは「大量発注も有り難いが、何より舎生と職員がとても楽しそうに張り合いをもって作業している姿を見るのが嬉しい」と感謝の言葉をいただき、クッキーも好評で、30周年記念事業として大変充実した取り組みが出来ています。

■諏訪地協 誰からも愛される諏訪湖を目指し 諏訪湖ゴミ拾い

諏訪地協の年間活動計画では、年3回(5月・8月・10月)にアダプトプログラム(湖畔清掃)を開催し、多くの組合員と家族の皆さんにも参加をいただいています。今回の諏訪湖のゴミ拾いは、前日諏訪湖エイトピークストライアスロン大会が行われた場所で行いました。思いのほかゴミの量は少なく、ごみ袋1枚半ほどの量でしたが、中にはカセットコンロのガスボンベの空き缶やタバコ、たばこの吸い殻等のゴミが有り、諏訪湖を訪れる人の中には、マナーを守れない人がいることを感じました。地元の

象徴、観光地でもある諏訪湖をいつまでも綺麗に保ち、誰からも愛される諏訪湖を目指す事を、諏訪地協幹事全員で誓い合う事業になったのではないのでしょうか。



■上伊那地協 必ずそばにいる頼りになる存在「カレー大作戦」

伊那市福祉施設・みぶの里の清掃ボランティアと、伊那市社会福祉協議会のボランティア団体として上伊那地協を登録し、毎月開催される伊那市社協主催



「カレー大作戦」へ参加しました。また、地域での災害に備えるための災害ボランティア研修会に参加し、ボランティアの役割や仕組みについても学びました。このような「地域に根ざした顔の見える運動」により、地域を創り人々の暮らしを守ることに繋がり、地域の労働組合やそこで暮らす人たちとの関係づくりを行っていきます。上伊那地協は、「必ずそばにいる頼りになる存在」となることを目指し、これからも連合活動を続けていきます。

求めています。  
土地・中古住宅情報

土地を売りたい  
中古住宅を売りたい  
買取り価格の査定をして欲しい

長野県下全域に1,700戸を超える優良宅地『レインボータウン』を分譲しました。  
まずは信頼の住宅生協にご相談ください。

長野県知事(10)2490号  
長野県労働者住宅生活協同組合

〒380-0838長野市東町523番地 ろうきんビル7F tel.026-234-0283 長野県住宅生協 様案  
松本事務所/〒390-0841 松本市渚1丁目2-1 tel.0263-88-5061 http://www.jyusei.jp/